

## 次号予告

### 特集 最適化技術の深化と広がり

メタヒューリスティクスによる汎用ソルバーの構築……………野々部宏司 (法政大学)  
最近の混合整数計画ソルバーの進展について……………藤江哲也 (兵庫県立大学)  
鉄道運賃計算と最適経路探索……………池上敦子 (成蹊大学)

森田隼史 (日本信号)

実務的な意思決定問題への数理計画法を用いたアプローチ……………田辺隆人 (数理システム)  
離散最適化解法の金融工学への応用

一年金等の長期運用に役立つ最適化技術の開発を目指して……………仲川勇二 (関西大学), 他  
SaaSによる物流最適化とその応用について……………伊倉義郎 (サイテック・ジャパン)

### 編集後記

●今号は「政治現象の計量分析」という特集で、現在の政治の現象をどのように数量的に分析できるかについてのものであり、大変興味深いものでした。ORはゲーム理論をはじめ、もともと政治上の意思決定とも深くかかわりがある学問分野であり、政治そのものにも役立つ考え方です。

●一昨年の政権交代はその後の政権運営をドラスティックに変え、日本全体にも様々な影響を及ぼしました。わがORについても当時の鳩山首相の専門ということので、ずいぶんと脚光を浴びました。ORは本来、様々な意思決定のエンジンにあたるものだと私は思っておりましたが、理系出身の首相という物珍しさも手伝ってか、ORは突如表舞台に引っ張り出されました。と

ころが、必ずしもその内容はすぐには理解されなかったのか、ORの解説書が急ぎよ出版されたというのも印象的でした。

●このあとがきを書いている時点では、ちょうど通常国会が召集され、これから様々なことが決定されていくはずですが、見ている限り様々な困難も立ちふさがっているおり前途多難な状態です。どの問題についても実行可能解はいくつも示されているとは思いますが、局所解に陥らないような長期的視点からの“最善”の大域解を選択するような意思決定が行われることを切に願うばかりです。ORの手法を直接利用してほしいとは望みが大きすぎるかもしれませんが、政界の皆さんにはぜひともOR的な物事のとらえ方と考え方を期待したいと思います。(生田目 崇)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ピー・エム(株)), 神山直之 (中央大学), 川田丈浩 (日本電信電話(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子 (株サイテック・ジャパン), 栗田佳文 (防衛省), 小林憲正 (東京工業大学), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 鳥海重喜 (中央大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成 23 年 4 月号 第 56 卷 第 4 号 通巻 604 号

代表者 数 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧 本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970 円 (本体 924 円) 年間予約購読料 11,040 円 (税込)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ